

2003年7月31日

シェルと空間構造に関する夏期セミナー2003のご案内

■期日、場所など

開催期日：2003年8月4日（月）～8月7日（木） 三泊四日

開催場所：「文部科学省共済組合乗鞍高原保養所・あづみ荘」

〒390-1513 長野県南安曇郡安曇村鈴蘭 4306-4

電話 0263-93-2005

ホームページ <http://jimuwwww.shinshu-u.ac.jp/ad/azumi/azumi.htm>

主 催：	金沢工業大学工学部建築学科	高山研究室
	法政大学工学部建築学科	吉田研究室
	東京大学生産技術研究所	川口研究室
	名古屋大学環境学研究科	大森研究室（幹事）

連絡先 名古屋大学・大森博司

電話 052-789-3752 Fax 052-789-3773

E-mail hero@dali.nuac.nagoya-u.ac.jp

会場の「あづみ荘」は温泉付き、最大収容人数が38名で、この期間は我々のみの貸し切りになる予定です。共済組合員証のコピーを持参すると割引になるようですので関係の皆様は持参下さい。なお、参加費は、学生：27,000円、一般：30,000円程度を予定しております。

■ 現地へのアプローチ

送迎バスはありませんので、各自、公共交通機関、自家用車で出かけて下さい。

○ 公共交通機関の場合

JR松本駅→(松本電鉄上高地線・30分)→新島々駅→(憲鞍高原(鈴蘭)行バス・54分)

→観光センター前→(徒歩・2分)→あづみ荘

○ 自家用車の場合

岡谷JCT→(長野自動車道・25km・20分)→松本IC→(国道158号線・30km・45分)→

前川渡→(県道乗鞍岳線・10km・15分)→あづみ荘

☞留意事項

初日のお昼ご飯を用意しますので、あずみ荘にはこれに間に合うようにして下さい。
 公共交通機関の場合、以下のどれかを利用することになると思います。(別添の時刻表も参照下さい)

松本駅発	新島々着	発	観光センター前着
10:50	11:20	11:40	12:33 (これが最終)
9:22	9:52	10:05	10:58
8:19	8:50	9:00	9:53

2003年7月19日～8月24日

Jul. 19 - Aug. 24, 2003

電車	松本	発	718	819	922	1050	1210	1330	1450	1650	Matsumoto	rail
	新島々	着	752	850	952	1120	1240	1400	1520	1720	arr. Shin-Shimashima	
バス		発	800	900	1005	1140	1245	1415	1525	1725	dep. Oyakodaki	bus
	親子滝		833	933	1038	1213	1318	1448	1558	1758	Oyakodaki	
	沢渡										Sawando	
	番所		847	947	1052	1227	1332	1502	1612	1812	Bandokoro	
	観光センター前		853	953	1058	1233	1338	1508	1618	1818	Kanko Center (Tourist Center)	
	鈴蘭		854	954	1059	1234	1339	1509	1619	1819	Suzuran	
	国民休暇村		859	959	1104	1239	1344	1514			National Vacation Village	
	位ヶ原山荘				Kuraigahara Sanso	
	白骨温泉	着	1639	...	Shirahone Onsen Spa	
	バス		発	
位ヶ原山荘			Kuraigahara Sanso	
国民休暇村			...	931	1021	1126	1301	1401	1531	...	National Vacation Village	
鈴蘭			724	936	1026	1131	1306	1406	1536	1656	Suzuran	
観光センター前			725	937	1027	1132	1307	1407	1537	1657	Kanko Center (Tourist Center)	
番所			731	943	1033	1138	1313	1413	1543	1703	Bandokoro	
沢渡			750								Sawando	
親子滝			757	957	1047	1152	1327	1427	1557	1717	Oyakodaki	
新島々		着	830	1030	1120	1225	1400	1500	1630	1750	arr. Shin-Shimashima	
電車		松本	着	907	1117	1202	1322	1437	1557	1717	1837	dep. Matsumoto

■ 発表

参加予定者数は28名ですので、資料は28部、用意して下さい。

学生の皆さんはできるだけ講演者に対して質問をするようにして、セミナーを活発なものにするために、一人必ず一回程度は質問するように心がけて下さい。

なお、下記の器具が利用可能です。

- (1) PC プロジェクター
- (2) OHP プロジェクター
- (3) Windows XP 用 Power Point の利用可能なノートブックパソコン

■ スペシャルセッション：乗鞍高原剣ヶ峰ハイキング

歩きやすい靴、雨具、ナップサックなどを用意しておいて下さい。

行きバス：

9:00：観光センター前・出発

9:50：乗鞍山頂（豊平）・到着

登山：

10:00：バスターミナル(2700m) 出発

10:05：富士見岳分道(2775m)

10:30：肩の小屋(2765m)

11:10：剣ヶ峰山頂・山頂小屋(3026m) 到着

11:10～12:10：昼食・休憩

12:10：剣ヶ峰山頂・山頂小屋(3026m) 出発

12:40：肩の小屋(2765m)

13:10：バスターミナル(2700m) 到着

13:10～14:00：周囲散策（お花畑回りコース 30分等）

帰りバス：

14:00：乗鞍山頂（豊平）・出発

14:50：観光センター前・到着

周辺に観光コースが沢山あります、気候により変更の可能性があります。

以上

- 8/4(月)
- 1 14:00-14:20 康聖奎 信頼性制約が考慮された空間構造物の形態創生に関する研究
 - 2 14:20-14:40 粟生知矢 拡張ESO法を用いた確率論手法による形態創生
 - 3 14:40-15:00 石山達士 遺伝的アルゴリズムによる構造物のロバスト性最大化問題の解析
 - 4 15:00-15:20 野田 賢 ライフサイクル過程における環境・経済的観点からの建築計画決定問題
 - 休憩
 - 5 15:20-15:40 井上圭人 テンション構造の不安定性と制振機構の導入
 - 6 16:00-16:20 呉 明児 テンション材により補剛されたアーチの実験
 - 7 16:20-16:40 永井 彰 任意形態のシザーズ型展開構造に関する研究
 - 8 16:40-17:00 鈴木悠介 テンセグリティ構造の分類と部材長に関する考察
 - 9 17:00-17:20 高田雅之 インフレーターブル構造に関する基礎的研究
- 18:30 夕食
- 8/5(火)
- 7:30 朝食
 - 10 9:00-9:20 原田卓哉 メカニズムの位相最適化を利用した高減衰壁の開発
 - 11 9:20-9:40 小泉智彦 CFRPを用いた中空スラブの最適補強に関する研究
 - 12 9:40-10:00 大森康代 4枚合せHPシェルの変形性状について
 - 13 10:00-10:20 鈴木直哉 逆転懸垂型シェルの力学性状に及ぼす開口の影響—その2：開口の数と位置の影響—
 - 休憩
 - 14 10:40-11:00 大森博司 簡易型膜張力測定装置の開発
 - 15 11:00-11:20 大矢俊治 木格子の振じり実験について
 - 16 11:20-11:40 榛葉 亮 廃タイヤを利用した住宅免震
 - 17 11:40-12:00 田村淳一 ハイブリッドロッキングカラム型免震装置の開発研究
 - 12:00 昼食
 - 18 13:00-13:20 高山 誠 プレキャストコンクリートシェルに関する話題
 - 19 13:20-13:40 山本憲司 剛性行列のブロック対角化を利用した単層トラスドームの形状最適化
 - 20 13:40-14:00 中村達哉 水の入った円筒タンクの振動実験
 - 21 14:00-14:20 西村 督 非保存系の臨界点解析
 - 22 14:20-14:40 村上 正明 3次元離散要素モデルの開発
 - 23 14:40-15:00 川口健一 張力安定トラスの導入張力について
 - 休憩
 - 24 15:20-15:40 加藤 淳 離散要素モデルとその動的解析法の検討
 - 25 15:40-16:00 加藤 哲義 瞬間最適制御理論による無反射境界
 - 26 16:00-16:20 牧田瑞記 可変形状型張力安定トラス構造について
 - 27 16:20-16:40 山田耕司 空間構造における減衰のスパン依存性に関する検討
 - 28 16:40-17:00 吉田 長行 鎌倉近代美術館の耐震性について
- 18:30 夕食